ランピースキン病について

令和8年11月
家畜防疫対策課

ランピースキン病とは（人には感染しません）

★ ランピースキン病ウイルスによる牛や水牛の「家畜伝染病」

★ 主な症状は、皮膚の結節や水腫、発熱、乳量低下

R8年5月
法改正



（参考）皮膚の結節

★ 治療法はないが、発症牛は徐々に回復（死亡率１～５％）

★ ウイルスが侵入する要因は、感染した牛の移動・汚染した飼料や器具の移動、感染牛を吸血した昆虫などによる伝播

ランピースキン病の発生状況

★ R6年度11月～12月　福岡県１９件、熊本県３件

★ R8年11月　福岡県１件、鹿児島県１件、長崎県１件

発生した場合は

★ 陽性牛の殺処分

★ 緊急ワクチン接種（発生農場、周囲5km内農場）

★ 移動制限（発生農場、周囲5km内農場）

対象：生きた牛（と畜場への出荷は可能）、生乳、精液　等

解除：続発がなければ概ねワクチン接種完了後21日間経過後

ランピースキン病を農場へ持ち込まないために

★　発生県からの牛の導入を極力控える
★　県外から牛を導入する場合は、２週間程度の隔離飼育

★　牛舎・牛床の定期的な清掃・消毒

サシバエ等は家畜の糞便・堆肥に産卵します。こまめに牛舎・牛床を清掃・消毒し、牛舎近くの藪も払いましょう。





（出典　住化エンバイロメンタル株式会社）

★　吸血昆虫の侵入防止、幼虫・成虫の駆除



- 薬剤入りのネットなのでハエが触ると殺虫効果がある。
- 毎日の管理がしやすいよう工夫して設置してください。
  (2枚の木材でネットを挟み立てかける等)

専用薬剤による殺虫方法

- **幼虫対策の成長制御剤**　：スプレーして幼虫に食べさせる
  ※ 蛹は食べないので、春(とできれば秋)に散布。冬は効果が薄い
- **成虫対策の空間散布剤**　：噴霧で成虫にかける
  ※ サシバエに耐性がつくのでお盆頃を目途に、薬を切り替える
- **成虫対策のベイト剤**　：スプレーして成虫に食べさせる

［逆性石鹸などの消毒薬が有効］
車両消毒、牛舎消毒を習慣づけましょう!!

［早期発見・早期通報］
本病を疑う場合、管理獣医師又は家畜保健衛生所へ連絡を!!